

厚生科学審議会（予防接種・ワクチン分科会 予防接種基本方針部会）
議事録（抄）

（平成25年9月6日 第5回予防接種基本方針部会）

○多屋委員

サーベイランス体制のところ、今の副反応とちょっと関連するところだけを先にお話ししたいと思います。

3番目の○の「予防接種台帳の電子化や」の後に「レセプト・DPC情報の活用」というのが記載されているのですが、例えばある副反応報告、疾患が報告されてきたときに、ベースとしてどのぐらいの数の患者さんがいらっしゃるのだろうということがいつも問題になって、なかなかわかりにくいところがありました。なので、こちらのレセプト・DPC情報も、予防接種後副反応として報告されてきた症状が、ベースでどれぐらい起こっているかということにも活用できると、有意に多いとか少ないとかいう検討も可能になってくるのではないかと思います。

（令和2年1月27日 第37回予防接種基本方針部会）

○多屋委員

（略）

今後、予防接種を受けた人の記録が番号と共に紐付けられていて、その人がその後どんな症状を呈したかということが分かるような仕組みができるのがいいのではないかと考えています。

米国で言うVSDの仕組みを、もし日本に導入するとすれば、全ての人が入らなくてもいいので、予防接種後に起こる副反応疑い症状として挙げられているような病気が、比較的多く受診されるような病院を幾つかチームを組んで、その病気を起こした人がワクチンを受けているか受けていないかという情報が紐付けられれば、接種を受けた人によって起こったのか、あるいは接種を受けていない人によっても起こっているのかという結果が得られるのではないかなと思います。

（略）